

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GLP ALFALINK 相模原IVプロジェクト	階数	地上4F
建設地	神奈川県相模原市中央区田名字白雨台3532-9, 3532-10	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,800時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年10月 予定	評価の実施日	2020年4月6日
敷地面積	49,831 m ²	作成者	東急建設株式会社
建築面積	25,257 m ²	確認日	2020年4月10日
延床面積	99,768 m ²	確認者	東急建設株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.9**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 0.0**

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 3.5**

Q3 室外環境(敷地内) **Q3のスコア = 2.5**

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.7**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 4.3**

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 3.3**

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 3.3**

3 設計上の配慮事項		
総合	耐用性・信頼性、対応性・更新性、エネルギー、資源・マテリアル、敷地外環境を基本に配慮がなされた計画である。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
0	耐用性・信頼性においては免震・制震・制振性能、躯体材料の耐用年数、空調換気設備、給排水・衛生設備などに配慮された計画である。	室外環境(敷地内)において敷地内温熱環境の向上を中心に配慮がなされた計画である。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建築物の環境負荷低減性において建築物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化などを中心に配慮がなされた計画である。	資源・マテリアルにおいて、節水、リサイクル材の使用、部材の再利用可能性の向上ハロン・フロン回避などを中心に配慮された計画である。	地球温暖化への配慮、交通負荷抑制、光害の抑制などを中心に配慮された計画である。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される